



田植えから収穫までを体験 北伊予小学校で稲刈り体験

北伊予小学校の5年生は10月24日、地域の人たちの協力を得て「総合的な学習の時間」の授業で6月に自分たちで田植えをした稲の刈り取りを行いました。

5年生を代表して酒井優心花さんは「ここまで育ったのは、水の管理やタニシの駆除など地域の人たちのおかげです。感謝の気持ちを忘れないようにします」とお礼を伝えました。収穫した新米は、児童が描いたイラストを貼った米袋に3kgずつ袋詰めされ、保護者などに販売されます。また、5年生の調理実習にも使われます。



身近にある自然を満喫 松前町子ども環境学園 2025

「松前町子ども環境学園 2025」の第3回目が10月26日、エミフルビオトープで行われ、自然観察会と6月にビオトープで田植えをした稲の刈り取りを行いました。

子どもたちは、昆虫を見つけた場所をビオトープの地図に書き込んだり、鎌の使い方のコツなどの指導を受けたりしました。楽しみながらも懸命に稲を刈り取ることができました。



スポーツの健全な発展を目指して 令和7年度生涯スポーツ功労者表彰

「令和7年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰式」が10月16日に東京都の中央合同庁舎で行われ、愛媛県ボクシング連盟顧問の八束 正さん^{やつ まさだい}さんが、生涯スポーツ功労者として表彰されました。

この表彰は、地域において10年以上スポーツの普及や奨励のための企画や指導に特に尽力した人に贈られるものです。八束さんは「関係者の協力や信頼があってのもの。感謝しています。今後もボクシングを少しでも広めていけるよう協力していきたい」と話していました。



自然を守っていきたい 令和8年用愛媛県緑化キャンペーンポスター原画

公益財団法人愛媛の森林基金の「令和8年用愛媛県緑化キャンペーンポスター原画」の募集において、北伊予小学校3年生の石川小華さんの作品が特選に選ばされました。

これは、木々や自然を守り育て、豊かな緑を次世代へ引き継いでいくことの大切さがイメージできる作品を募集したものです。石川さんは「初めて賞を取ったから嬉しかった。最近山火事で多くの森がなくなったので、木を植えて、また森にしてほしい」と話していました。



楽しみながら福祉や防災を学ぶ 福祉ふれあいフェア 2025

「福祉ふれあいフェア 2025」は10月25日、総合福祉センターで開催されました。

会場では、クイズや体験をして抽選会で景品をもらったり、福祉や防災のパネル展示があったり、伊予高生によるこども服の譲渡会が開かれたりしました。訪れた人は、さまざまな展示や体験を楽しんでいました。



町内で2人が入賞 3R促進ポスターコンクール

環境省と3R・資源循環推進フォーラムが主催する「令和7年度3R促進ポスターコンクール」が行われ、全国から3,780点の応募がありました。

▼最優秀賞



北伊予小1年 田井心流さん
「手をかくのがむずかしかった。食べ残しはダメとみんなに伝えたい」



▼佳作



松前小6年 柳綾香さん
「資源にできるものがたくさんあるから、みんなに知ってほしい」





一緒に歌って、踊って らぐれんおたのしみコンサート

「らぐれんおたのしみコンサート」は11月5日、白鶴保育所で行われ、同保育所の園児と黒田保育所の年長クラスが参加しました。これは、四国乳業株式会社（島原吉之代表取締役社長）が子どもたちに文化芸術に触れてもらう機会をつくろうと令和4年から実施しているものです。

園児は、歌のお姉さん「ぽんびんず」と一緒に歌ったり、踊ったりして楽しい時間を過ごしました。黒田保育所の横山真弓さんは「歌が一番楽しかった。また来てほしい!」と話していました。



空き家をそのまま放っておかない 松前町空家バンクにおける媒介等に関する協定式

町と公益社団法人愛媛県宅地建物取引業協会（姉川誠会長）・公益社団法人愛媛県宅地建物取引業協会伊予地区連絡協議会（林志郎地区代表）は11月7日、松前町空家バンクにおける媒介等に関する協定を締結しました。

これは、空き家の売買を適正・円滑に進め、空き家の利活用と移住・定住・二地域居住を促すことを目的とするものです。姉川会長は「安心・安全に空き家の利活用をしてもらえるよう地域に貢献したい」と話していました。



サイクリングロードを颯爽と走る 愛媛県自転車新文化推進協会サイクリングin松前町

愛媛県自転車新文化推進協会は11月1日、松前町でサイクリングイベントを開催しました。松前公園を出発後、北川原の田園地帯から重信川サイクリングロードに入り、赤坂泉まで走りました。帰りは、松山市側のサイクリングコースを戻りました。

当日は、当協会に所属する県内の企業から約90人が参加し、秋の風を感じながらペダルをこいでいました。



県民の保健・医療・福祉の向上に寄与 令和7年度愛媛県功労賞受賞式

「令和7年度愛媛県功労賞受賞式」が11月3日に愛媛県庁で行われ、一般社団法人愛媛県訪問看護協議会会長の大西満美子さんが受賞されました。

これは、県勢の伸展に特に顕著な功績のあった人に贈られるものです。大西さんは、看護の質の向上、医療安全の確保、労働環境の改善や在宅療養に対するケア・サービスの提供に尽力されました。大西さんは「家族や関係者の助けや支えに恵まれ感謝しています。看護は素晴らしい仕事。若い人たちに地元で頑張ってほしい」と話していました。



4ヶ月間の成果を発表 ローカルビジネスカレッジ松前校成果報告会

「ローカルビジネスカレッジ松前校成果報告会」は10月30日、文化センターで行われました。ローカルビジネスカレッジ松前校とは、ビジネスに関心がある人を対象とした、地域に根ざした事業の成長を支援する実践型プログラムです。1期生の8人が、講師の下で学んだ成果を発表しました。

有限会社吉岡工業の吉岡和樹さんは「意識の高いメンバーの中に飛び込むことが、未来を変えるきっかけになる。この学び場をたくさんの人々に知ってほしい」と話していました。



緑のリレーで未来をつなぐ ぐるつto植樹祭えひめ

「ぐるつto植樹祭えひめ」は10月25日、エミフルMASAKIで開催されました。

これは、令和8年に開催の「第76回全国植樹祭えひめ2026」を身边に感じてもらうため、大会シンボルの木製地球儀を県内全市町に巡回展示しているイベントです。田中町長は「松前町に森林はないが、多くの地域の森の恵みでつながっていることに感謝をし、これからも木を大切にしてほしい」と挨拶をしました。木製地球儀は11月5日（水）まで庁舎ロビーに展示されていました。



完成が待ち遠しいね 義農味噌株式会社で麦みそ作り体験

義農味噌株式会社（田中正志社長）は11月1日、本社=永田=で「麦みそ作り体験」を開催しました。

14組29人が参加したこのイベント、参加者はまず職員から麦みそ作りの工程の説明を受けました。その後、麦、塩、大豆、水の順番でしっかり混ぜ、2kgの麦みそを作りました。今回仕込んだ味噌は自宅で2カ月ほど待てばおいしい麦みそになります。姉妹で参加していた松下陽咲さんと紬衣さんは、味噌が完成したら『『もろきゅう』や『味噌おにぎり』にして食べたい』と話してくれました。



若い力が地域を動かす 松山東雲女子大学・短期大学と包括連携協定

町と松山東雲女子大学・松山東雲短期大学（水代仁学長）は10月29日、地域社会の発展や人材育成に寄与することを目的に包括連携協定を締結しました。

今後は、DX、教育、福祉、産業や防災など様々な分野で連携し、松前町をフィールドとして大学生に行政や町の魅力を知ってもらい、若者の定着にもつなげていきます。水代学長は「学生と町職員が協働することで、課題解決力や発想力を育み、地域に新たな価値を生み出せると期待している」と話していました。





怖くないよ！かわいいよ！

北公民館 おかだミニミニ ZOO

11月8日、北公民館でおかだミニミニ ZOO が開催され、蛇、トカゲ、モルモットやハリネズミなどのたくさんの種類の生き物がやってきました。また、岡田中学校のボランティア部の生徒は、受け付けをしたり、子どもたちが触りたい生き物を優しく手渡したりしました。

アヒルや陸ガメに餌をあげる体験もすることができ、子どもたちは普段できない体験を楽しんでいました。



自転車の交通ルールはばっちり

ファーストバイク＆ファーストヘルメットスクール

「ファーストバイク＆ファーストヘルメットスクール」は11月10日、まさき幼稚園で行われ、年中クラスの園児が参加しました。

これは、学生への自転車教室などを開催している株式会社コイデルが、園児を対象に、楽しく自転車の交通ルールを学び、安全に乗ってもらうために実施しているものです。園児たちは、クイズで交通ルールについて学んだあと、地面を蹴って進むプッシュバイクでコースを走りながら、左右確認や一時停止などを笑顔で実践していました。



まさき VS まつまえ 北海道フェア

第3回たわわフェスタ

「第3回たわわフェスタ」は11月8日、エミフル MASAKI まさき村前駐車場で開催されました。

今回のテーマは「まさき VS まつまえ 北海道フェア in MASAKI」。愛媛県産と北海道産の牛乳・地酒の飲み比べ、米の詰め放題対決が行われ、たくさんの方が参加しました。愛媛プロレスによるリングイベントでは、北海道のレスラーが登場し、会場は熱気に包まれました。



レア体験に感激

まさき名所めぐりツアー

松前町文化協会と松前総合文化センターは11月3日、「まさき名所めぐりツアー」を行いました。

今回は東レ愛媛工場の工場見学もツアーに入っており、26人が参加。文化センターを出発して高忍日賣神社からひよこたん池公園を巡り、東レ愛媛工場で工場見学や工場の概要について話を聞きました。その後、塩屋海岸に向かい、松前城跡の説明を受け、ツアーは終了。歴史ある史跡や最新設備の工場を巡り、知的好奇心を満たす旅となりました。

